

茨城県日立市立坂本小学校 (学校長 小山 彰一)

実施日	平成20年1月29日(火)	時間	午前9時30分～午前11時30分
実施場所	教室、多目的スペース、ランチルーム	対象/人数	3～4年生 290名
担当教諭	石井 佐千子	ファシリテーター	根本 久美子
講師	パーコフィ・エイキンス(ガーナ) オウ・ハウ(中国 029-259-5161) リー・ペイ・リン(マレーシア) オレリアン・パロン(フランス 県国際交流員)		

活動内容

- ・交流タイム(言葉の紹介、簡単な挨拶、数の紹介、民族衣装や国の紹介、質問タイム)
- ・児童からの歌の紹介

児童の感想

- ・私は本やインターネットでフランスのことをたくさん調べました。ワールドキャラバンでは、楽しくフランスの有名な場所やフランスパンなどの話を聞くことができました。これからは、フランスはもちろんですが、そのほかの国のことももっと調べたいです。
- ・ワールドキャラバンの時、「ガーナ人はあまいものを食べない」といっていたので、カカオ豆の生産地なのにどうしてだろうと思いました。ガーナ人は、歯を大事にしているからだと聞いてとてもびっくりしました。

先生の感想

・本校では、ワールドキャラバンを毎年連続して実施してきました。今年度は3・4年生が実施しましたが、国によって習慣や遊びなどが異なることを知って、素直に感動していました。講師の方は日本語がじょうずで、話もとてもおもしろかったです。太鼓や民族衣装や写真などを実際に見て学習することもできました。グループに分かれて話を聞いたので、教室に戻ってきた児童は、教えてもらったあいさつなどを教えあっていました。それぞれの国の言葉の本物の発音で、あいさつなどを教えていただける時間がもう少しあればと思いました。本やパソコンで調べられないことを、実際に質問できるよい機会になったと思います。

成果と課題

- ・外国人の講師の方から直接話を聞くことで、生活や文化の違いを実感することができました。総合的な学習の時間の中にワールドキャラバンを位置付けて実施し、選択した国について調べ学習を

したので、予備知識を持って話を聞くことができました。日本語で質問に答えてもらったこともよかったです。

- ・限られた時間なので、話を聞く、言葉を教えてもらう、国旗や民族衣装を見せてもらう、交流や体験活動などの組み合わせを工夫したいです。

